

# 主題：神のエコノミーと分与

メッセージ 1

神の永遠のエコノミーの健康な教えに結び付き、  
わたしたちの霊の訓練を通して神がキリストにあって  
わたしたちの霊の中へと神聖に分与する中を生き、経験へと至る  
聖書：Ⅰテモテ 1:3-6, 3:15, 4:6-7, 6:3, 20, Ⅱテモテ 1:6-7, 12-14, 4:22

- I. テモテへの第一の手紙の主題は、召会に関する神のエコノミーです。神のエコノミーとは彼の家庭の行政であり、キリストにあるご自身を彼の選ばれ贖われた人の中へと分与して、彼がご自身を表現する家を持つことです。その家は召会、キリストのからだです—— 1:3-6, 3:15 :
- A. 神の永遠のエコノミーは、神のご計画であり、彼のみこころまた目標です。神の分与、神の分配は、彼がご自身のエコノミーを完成する過程また手段です。こういうわけで、神の分与は神のエコノミーのためです。
  - B. キリストは神のエコノミーの中心、周囲、要素、範囲、手段、目標、目的です。事実、神の永遠のエコノミーの内容はすべて、ただキリストです——マタイ 17:5, ルカ 24:44。
  - C. もしわたしたちが神のエコノミーを知らないなら、聖書を理解しないでしょう。聖書の中心主題は神のエコノミーであり、全聖書は神のエコノミーに関してです—— 45 節, ヨブ 10:13, 参照、エペソ 3:9。
  - D. 神のエコノミーはご自身をわたしたちの存在の中へと分与して、わたしたちの存在が彼の存在で構成されることです。これが達成され得るのはただ、神がご自身を神聖な命としてわたしたちの中へと分与することによってです—— 16-17 節前半, ヨハネ 10:10, 14:6 前半, Ⅰコリント 15:45 後半, ローマ 8:2, 6, 10-11。
  - E. 新約におけるリーダーシップは神のエコノミーの支配する、神の与える啓示のリーダーシップです——使徒 26:19, 箴 29:18。
  - F. わたしたちは暗くされ混乱した状況の中で、新約における照らし秩序立てる言葉、すなわち神のエコノミーの健康な教えに結び付かなければなりません。それは神が彼の神聖な三一におけるご自身を彼の選ばれた人の中へと分与して、彼らがキリストのからだへと構成され、三一の神の現れとなることです——テトス 1:9, 使徒 2:42, Ⅰテモテ 1:3-4, 10, Ⅱテモテ 4:3, Ⅰテモテ 6:3, Ⅱテモテ 1:13 :
1. 「健康な」とは、命の事柄を暗示します。使徒たちの健全な教え、神のエコノミーの教えは、命の供給を人々に与え、彼らを養い、あるいはいやします。対照的に、異議を唱える者たちの異なる教えは（Ⅰテモテ 1:3）死と毒の種を人の中へとまきます。
  2. 人々を神の永遠のエコノミーの中心と目標からそらすどんな教えも健康ではありません。神のエコノミーと異なる教えは、わたしたちの命またすべてとしての主

イエス・キリストの尊いパーソンに対する純粋な評価、愛、享受からわたしたちを分離します——Ⅱコリント 11:2-3。

3. 異議を唱える者たちの異なる教えは、信者たちの間にねたみと不調和をひき起こします。それは神のエコノミーの教えにとどまっているようにとの使徒の命令に対する愛、目標（対象また目的）と正反対です——Ⅰテモテ 1:5. ヨハネ 13:34. ガラテヤ 5:13-14。

4. 召会の衰退と背教の基本的な要因は、神のエコノミーを中心とするパウロの務めからそれることです——Ⅱテモテ 1:15-17. 参照、2:17-18. 4:4, 10, 14-16. エペソ 1:1. Ⅰテモテ 1:3-4. 啓 2:1-7, 14-15, 20. 3:8。

G. わたしたちは主の回復の中で守られるために、「託された良いものを、わたしたちの中に住んでおられる聖霊を通して守」らなければなりません——Ⅱテモテ 1:14 :

1. 13 節によれば、託されたものとは、神のエコノミーの健康な言葉の託されたものを指しており、主の言葉の中にある命の豊富を含み、彼はそれをわたしたちの中に蓄えています。わたしたちは主の健康な言葉をわたしたちの存在の中へと預けなければなりません。それは、わたしたちが銀行にお金を預けるようなものです——Ⅰテモテ 6:20. コロサイ 3:16. 詩 119:11, 72, 111, 162。

2. 健康な言葉の模範を保つとは、健康な言葉によって生き、神の永遠のエコノミーに関する完全な福音の言葉と、キリストの豊富を内容として伝達する甘い言葉で養われることです——Ⅱテモテ 1:13. Ⅰテモテ 4:6。

3. 聖霊はわたしたちの霊の中に住んでいます（ローマ 8:16）。ですから、わたしたちが託された良いものを聖霊を通して守ることは、わたしたちが霊を訓練することを必要とします（Ⅰテモテ 4:7）。

4. わたしたちが霊を訓練することを通してその霊の中で活動し、振る舞い、命を持つ人であるなら、わたしたちの存在の中に託されてきたすべては、わたしたちの中に住んでいるその霊を通して守られます——Ⅱテモテ 1:12, 14。

**Ⅱ. テモテへの第二の手紙の主題は、召会の衰退に対する予防注射であり、この予防注射を受けて分与するかぎは、わたしたちの霊を訓練して敬虔へと至ることです——1:6-7. Ⅰテモテ 4:7-8. 使徒 6:10. Ⅰコリント 14:32 :**

A. 敬虔、すなわち神の表現である生活は、神聖なエコノミーのための神聖な分与の結果であり、この分与は、召会生活における神の団体的な現れのために、わたしたちの霊を訓練してわたしたちの日常生活でキリストを生きることにかかっています——Ⅰテモテ 1:3-4. 3:15-16. 4:7-8. Ⅱテモテ 1:6-7。

B. 神の当初の意図の青写真において、人は全宇宙の中心であり、人の中心は彼の霊です——ゼカリヤ 12:1. 創 2:7 :

1. 天は地のためであり、血は人のためであり、人は神によって霊のあるものに創造されました。それは、人が神と接触し、神を受け入れ、神を内容とし、神を礼拝し、神を生き、神のための神の定められた御旨を完成し、神を表現し、神と一になるためです——箴 20:27. ヨハネ 4:24. Ⅰコリント 6:17. Ⅱテモテ 4:22。

2. 神がその霊であることなしに、またわたしたちが霊を持って神と接触し、神と一になることなしに、全宇宙はむなしく、わたしたちは無です——伝 1:2. 3:11。

ヨブ 32:8. 12:10. II コリント 4:13, 16-18。

3. 墮落のゆえに、人は人の霊を見過ごし無視しただけでなく、人に霊があることに同意することを拒みさえしました——参照、I テサロニケ 5:23. ヘブル 4:12. ユダ 19 節。
4. 人は器として、彼の霊を訓練することを通して、命の木としてのキリストにある神を受け入れ、川としての命が彼の最も内なる存在の中に流れ込み、また流れ出て、神の建造、神の永遠の表現のために造り変えられて尊い材料となるべきでした——創 1:26. 2:7-12, 22. I テモテ 4:7-8 :
  - a. 神の息はわたしたちの人の霊となりました。わたしたちの霊は神のともし火であって、油としての神を入れ、わたしたちに光を与えます——創 2:7. 箴 20:27.
  - b. 墮落を通して人の霊は壊れたともし火となりましたが、神の救いにおける回復を通して、人の霊は再生され、再建されて、活気づける、七倍に強化された霊をもって補強されています——ヨハネ 3:6. 啓 4:5. I コリント 15:45 後半.
  - c. 中心的な行政と人の存在の最も主要な部分は、彼の霊であるべきです。霊によって支配され制御されている人は霊の人です—— 2:14-15. 3:1. 14:32. エペソ 3:16. I ペテロ 3:4. ダニエル 6:3, 10.
5. 神を人の中へと建造することは、幕屋と胸当ての両方によって予表され、神の建造へのかぎはわたしたちのミングリングされた霊です :
  - a. 幕屋の立柱を結び付ける横木は、金で覆われたアカシア材でできており、ミングリングされた霊、すなわち、神聖な霊が人の霊とミングリングされて平和の結合するきずなとなることを表徴します——出 26:26-30. ローマ 8:16. エペソ 4:3.
  - b. 新約において、胸当ての中へと入れられたウリムとトンミムは、ミングリングされた霊、すなわち、わたしたちの受け入れる霊、わたしたちの再生された人の霊に内住する神の明らかにする霊、聖霊です——出 28:30. ローマ 8:4, 14. I コリント 2:9-12.
6. わたしたちの人の霊に内住する神聖な霊と、一つ霊として共にミングリングされた両者、すなわちミングリングされた霊は、信仰の中にある神のエコノミーの戦略的で中心的な点です——ヨハネ 3:6. 4:24. ローマ 8:16. II テモテ 4:22. I コリント 6:17. I テモテ 1:4. II コリント 4:13 :
  - a. 神のエコノミーを完成する大いなる道は、わたしたちがその霊にしたがい、わたしたちの霊を訓練することによって生き、あらゆることを行なうことです——ローマ 8:4. ガラテヤ 5:25. ピリピ 3:3. ローマ 1:9.
  - b. わたしたちは霊に戻って霊を訓練するときはずっと、からだに触れます。なぜなら、からだはわたしたちの霊の中にあるからです——エペソ 1:17. 2:22. 3:5, 16. 4:23. 5:18. 6:18.
- C. 「訓練」という言葉は強いることを暗示します。わたしたちクリスチャンが強くなることを願い、主の中で成長することを願うなら、自分自身を強いてわたしたちの霊を用い、わたしたちの霊を訓練するという強い習慣を建て上げるに至らなければなりません——I テモテ 4:7.

- D. わたしたちの霊を訓練するとは、わたしたちの霊を燃え立たせることです——Ⅱテモテ 1:6-7 :
1. 火はわたしたちの再生された霊の中にあり、霊は聖霊によって内住されています。  
実は、わたしたちの霊が火です——ルカ 12:49-50. ローマ 12:11. 啓 4:5. 箴 20:27.
  2. わたしたち救われた者は、クリスチャン生活と召会生活を生きるための資本を持っています。この資本とは、わたしたちの神が与えた霊です。
- E. わたしたちは霊を訓練するために、わたしたちの霊を取り巻く心の各部分（わたしたちの思い、感情、意志、良心）を対処しなければなりません——Ⅰペテロ 3:4. 詩 51:10 :
1. 力の霊は、服従し復活した意志のある霊であり、愛の霊は、愛としての神で満たされた感情のある霊であり、冷静な思いの霊は、更新された思いのある霊です——Ⅱテモテ 1:7.
  2. わたしたちの霊を訓練するとは、自分自身を訓練して、神と人に対して違犯のない良心を持つこと、純粋な良心を持つことです。純粋な良心を持つことは、ただ神と彼のみこころだけを追い求めるという純粋な心を持つことを意味します——Ⅰテモテ 1:19. 3:9. Ⅱテモテ 1:3. 使徒 23:1. 24:16. マタイ 5:8. 詩 73:25-26.
- F. いつも喜んでおり、絶えず祈り、あらゆることで感謝して、内住の霊を享受することによってわたしたちの霊を訓練することは、キリストの中ですべての事を行なうことの秘訣です——Ⅱコリント 12:2 前半. ピリピ 4:11-13. 詩 91:1. Ⅰテサロニケ 5:16-18.
- G. わたしたちの霊を訓練することは、わたしたちの霊を魂から区別することです——ヘブル 4:12 :
1. わたしたちは常に警戒して、霊からのものではなく魂、自己からのものを何であれ区別し否むです——マタイ 16:25. 参照、ルカ 9:25.
  2. わたしたちであるものは何であれ、持っているものは何であれ、行なうことは何であれ、霊の中になければなりません。わたしたちにとって神であるすべてはわたしたちの霊の中にあります——ローマ 2:28-29. 1:9. 8:4. 12:11.
- H. わたしたちの霊を訓練することは、神の永遠のエコノミーにおける目標としての神の權益（キリスト、神の王国、神の家）のために祈り、神に近づいて個人的に何かを打ち明けることです——Ⅱテモテ 1:6-8. Ⅰテモテ 1:3-4. 2:1-3, 8. 列王上 8:48.